

## 福島県の被害状況

### 地震・津波被害

浜通りを中心に甚大な被害【死者4,088人】 内陸部も倒壊家屋多数

#### ◆福島県内の被害状況

【平成30年12月5日現在】

##### 【人的被害】

死者：4,088人  
(うち、震災関連死※2,259人)  
行方不明者：2人

※震災関連死とは地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。

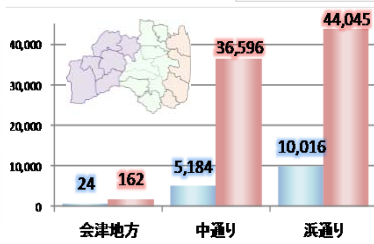


津波に襲われる四倉湾

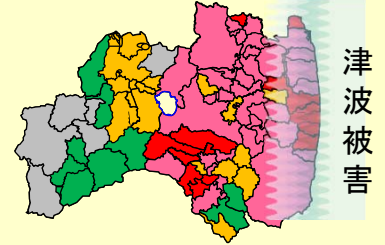
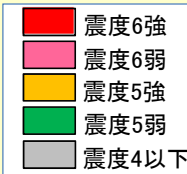
##### 【家屋被害の状況】

全壊	15,224棟
半壊	80,803棟

##### <県内3地方内訳>



#### ◆県内各地の震度



#### ◆災害廃棄物の処理状況 【平成30年9月末現在】

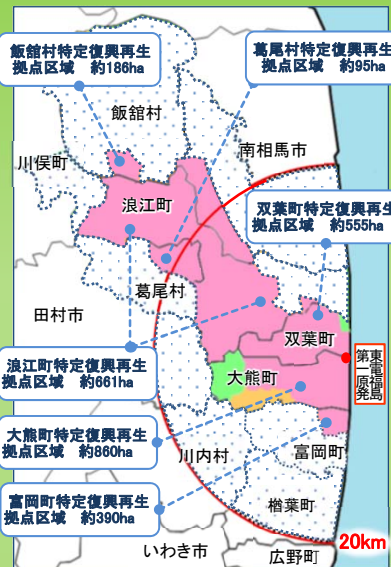
##### 【国が行っている災害廃棄物処理の様子】



### 避難等の状況

平成30年12月現在の避難者数43,214人【県内10,054人 / 県外33,147人】

#### ◆避難指示区域MAP



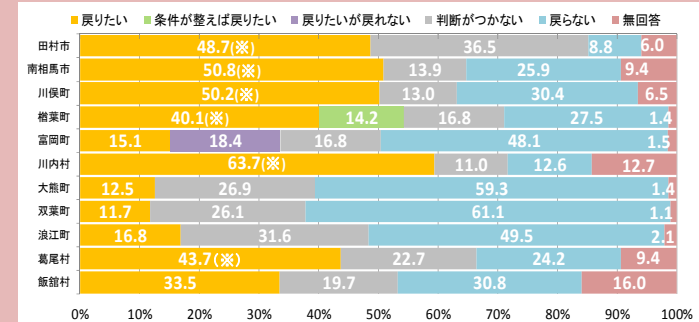
##### 【避難指示区域解除状況】

年月日	市町村	解除状況
平成26年 4月1日	田村市 都路地区	・避難指示解除準備区域解除 ・避難指示解除準備区域解除
平成26年 10月1日	川内村	・居住制限区域を避難指示解除準備区域に再編
平成27年 9月5日	楡葉町	・避難指示解除準備区域解除
平成28年 6月12日	葛尾村	・居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
平成28年 6月14日	川内村	・避難指示解除準備区域解除
平成28年 7月12日	南相馬市	・居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
平成29年 3月31日	川俣町 浪江町 飯館村	・避難指示解除準備区域解除
平成29年 4月1日	富岡町	・避難指示解除準備区域解除

帰還困難区域	・年間積算線量20mSv/年を超す ・立ち入り原則禁止 ・宿泊禁止
居住制限区域	・年間積算線量20~30mSv/年 ・立ち入り可、一部事業活動可 ・宿泊原則禁止
避難指示解除準備区域	・年間積算線量30mSv/年以下 ・立ち入り可、事業活動可 ・宿泊原則禁止
解除された区域	・避難指示が解除された区域

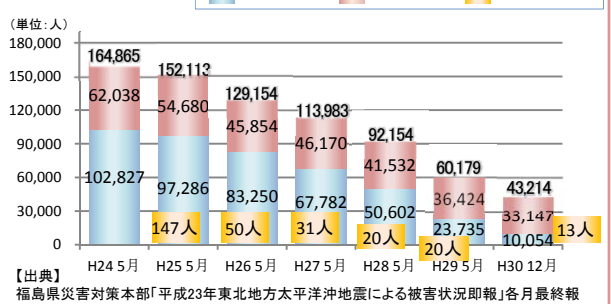
※特定復興再生拠点区域・・・帰還困難区域内において避難指示を解除し、居住を可能とすることを旨とする区域

#### ◆復興庁・県・市町村による住民帰還意向調査結果

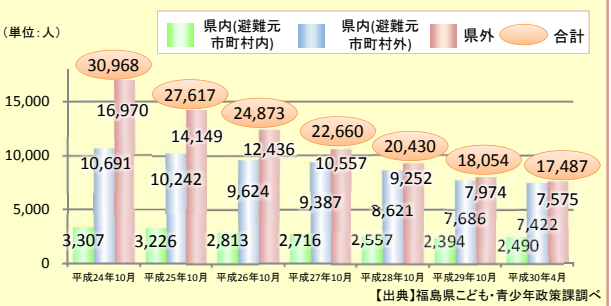


【調査年度】平成30年度(富岡町)平成29年度(楡葉町、双葉町、浪江町、葛尾村、川俣町、大熊町)平成28年度(南相馬市、川内村、飯館村)平成27年度(田村市) (※)すでに戻られている方含む

#### ◆避難者の推移



#### ◆避難者のうち18歳未満のこどもの内訳(避難先別)



#### ◆福島県の人口の推移

	(単位:世帯)		(単位:人)	
	世帯数	人口	男性	女性
平成23年3月	721,535	2,024,401	982,427	1,041,974
平成30年11月	749,026	1,861,839	921,543	940,296
増減	27,491	▲162,562	▲60,884	▲101,678

【出典】福島県の推計人口(福島県現住人口調査月報)



## インフラ復旧

## 災害復旧工事は99%着手～全体の94%が完了

### ◆公共土木施設等災害復旧工事の進捗 【平成30年11月30日現在】

公共土木施設 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了見通し ※帰還困難 区域を除く
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,145	2,125	99%	2,037	94%	
河川・砂防	283	279	98%	256	90%	平成32年度
海岸	157	156	99%	132	84%	平成32年度
道路・橋梁	807	799	99%	790	97%	平成32年度
港湾	331	331	100%	331	100%	完了
漁港	470	463	98%	431	91%	平成32年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了

被災した公共土木施設の99%で復旧工事に着手しており、全体の94%が完了しています。  
今後も津波被災地を中心に、復旧工事の早期完了と道路インフラ等の充実強化を図り、安全安心の確保に努めていきます。



### ◆災害復旧工事の様子

県道いわき石川線(才鉢工区)



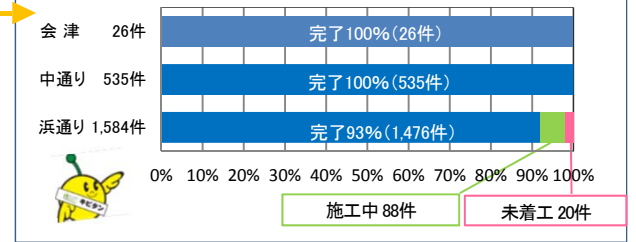
浅見川防災緑地整備



### ◆避難指示区域内の進捗状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、国が行う除染などと調整を図りながら進めていく予定です。

査定決定数 (箇所数)	着工 件数	着工率	完了 件数	完了率
359	339	94%	263	73%

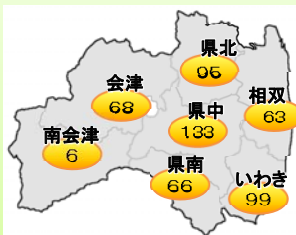


## 産業振興

## 企業立地補助金による支援等で工場の新増設が増加

### ◆企業立地の状況

ふくしま産業復興企業立地補助金 530社を指定



【平成30年10月22日現在】

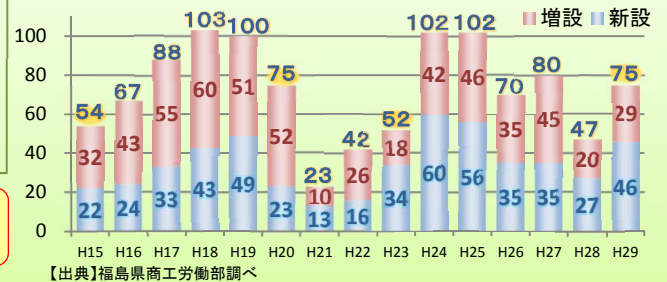
<指定を受けた主な業種>

- ・輸送用機械関連
- ・半導体関連
- ・医療福祉機器関連
- ・再エネ関連 等

6,924人の  
雇用創出見込み

### ◆福島県内の工場[敷地面積1,000㎡以上]新・増設状況

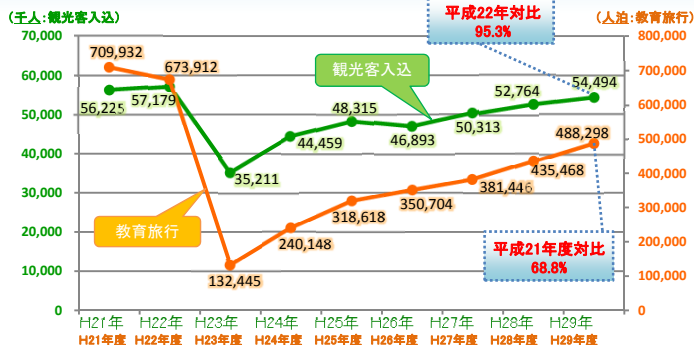
【県工業開発条例に基づく設置届出件数】



## 観光再生

## 観光再生に向けて～復興を国内外に発信

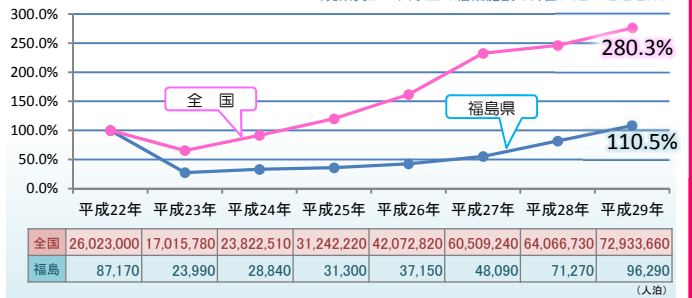
### ◆福島県観光客入込と教育旅行の状況



【出典】福島県観光交流局・福島県観光物産交流協会

### ◆外国人延べ宿泊者数

【出典】観光庁 宿泊旅行統計調査 (従業員が10人以上の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数)



### 「新生Jヴィレッジ」 全面再開に向けて

平成30年9月  
全天候型練習場オープン



平成30年7月に一部再開した福島県復興のシンボル「Jヴィレッジ」に、サッカーグラウンド1面規模としては、全国初となる全天候型練習場が9月にオープンしました。平成31年4月の全面再開時には、JR常磐線Jヴィレッジ駅も開業予定です。

Jヴィレッジを地域の中核的な施設として活用し、スポーツの振興、交流人口の拡大、原発事故の風評払拭などに取り組みとともに、国内外に向けて力強く復興する本県の姿を発信していきます。

### 東京2020オリンピック 聖火リレーは福島県からスタート /本県開催のソフトボールで開幕



東京オリンピック聖火リレーが、2020年3月26日に福島県から出発することが決定しました。また、オリンピック開会式2日前の7月22日に、全競技に先駆けて福島県あづま球場でソフトボールが開幕する日程が公表されました。野球の開幕戦も福島県で開催されることが決定しています。

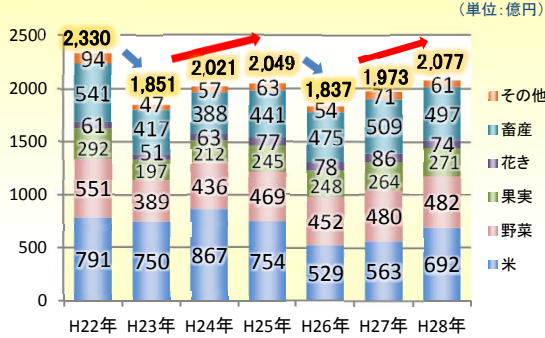


「復興五輪」として開催される東京オリンピック・パラリンピックを通じ、東日本大震災以降、福島県が、全国、海外の皆さんからいただいた御支援に対する感謝の思いと、復興に向けて前進している姿を発信していきます。

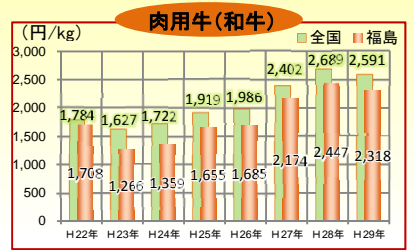
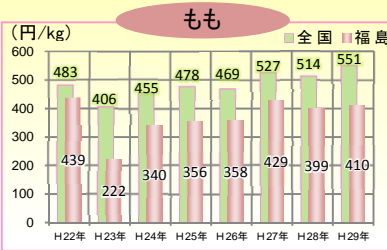
農業再生

コメの全量全袋検査や県産農林水産物のモニタリング検査等を通じて安全・安心な農林水産物を提供

◆本県の農業産出額等の推移



◆福島県を代表する農畜産物の価格推移



【出典】東京都中央卸売市場ホームページ市場統計情報

◆農地の除染



H22年 H23年 H24年 H25年 H26年 H27年 H28年  
 ※ 項目毎の四捨五入により年計と年の各項目の総和は一致しない。  
 ※ 米について、H24年以降、作付面積、収穫量とも増加傾向にあるものの、H26年・H27年は全国的に米価が大きく下落し、本県の米の産出額も大幅に減少した。

【出典】農林水産省生産農業所得統計、生産林業所得統計報告書、漁業産出額より作成

◆野菜・果物、畜産物等の検査結果

【平成30年4月1日～平成30年10月31日】

種別	検査件数	基準値超過数	超過数割合
野菜・果実	2,051件	0件	0.00%
畜産物	2,531件	0件	0.00%
栽培野菜・きのこ	699件	0件	0.00%
海産魚介類	3,422件	0件	0.00%
内水面養殖魚	34件	0件	0.00%
野生野菜・きのこ	683件	1件	0.15%
河川・湖沼の魚類	724件	3件	0.41%

◆米の全量全袋検査の結果

【平成30年8月21日～平成30年10月31日】

検査の流れ

1袋づつ検査 → ベルトコンベア式検査機器 → 検査済みの袋

検査点数	基準値超過数	超過数割合
約660万点	0件	0.00%

検査済みの県産米の玄米袋や小分けした精米袋に検査済みラベルを貼付しています。検査結果はホームページで確認できます。



福島イノベーション・コースト構想

浜通り地域等の産業・雇用の回復を目指す国家プロジェクト

拠点の整備及び研究開発の推進

福島ロボットテストフィールド

陸・海・空のロボット・ドローンの研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行える、世界に類を見ない一大研究開発拠点。

平成30年度から順次開所予定



南相馬市・復興工業団地内の東西約1000m、南北約500mの敷地内に「無人航空機エリア」、「インフラ点検・災害対応エリア」、「水中・水上ロボットエリア」、「開発基盤エリア」を設けるとともに、浪江町棚塩産業団地内に長距離飛行試験のための滑走路を整備します。

研究棟 (H31年度第2四半期開所予定)

試験用プラント (H30年度第3四半期開所予定)

試験用トンネル (H31年度第3四半期開所予定)

屋内水槽試験棟 (H31年度第4四半期開所予定)

機密ネット付飛行場 (H31年度第3四半期開所予定)

ロボットテストフィールド 一部開所

ドローンの長距離飛行・運航管理試験の安全機能(区域一帯でのドローンとの長距離通信確保、気象情報の収集、他機の監視)を持つ「通信塔」を開所しました。南相馬市から浪江町の間約13kmで設定した「広域飛行区域」と併せて、安全かつ円滑に試験を行うことが可能です。



産業集積の促進及び未来を担う教育・人材育成



生活環境の整備促進



来訪者の増大による地域への交流人口の拡大



多様な主体相互間の連携の強化



福島県企画調整部 復興・総合計画課  
 Tel 024-521-7109 E-mail sougoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp

復興のあゆみ 全体版も是非ご覧ください

ふくしまの をわかりやすく紹介 ふくしま復興のあゆみ 発刊中!

検索 ふくしま復興のあゆみ

震災・原子力災害復興情報は復興ステーションへ

ふくしま復興ステーション 復興情報ポータルサイト

検索 ふくしま復興ステーション